



滋賀県

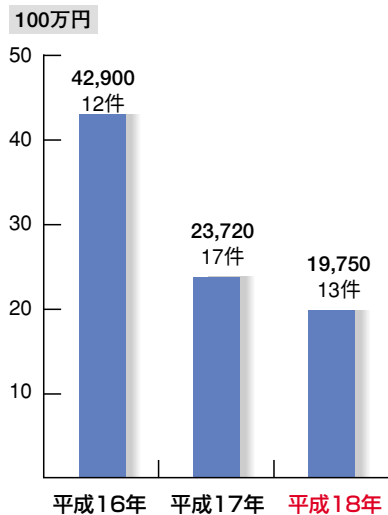
- 社会貢献活動拠出額19,750,000円
- 社会貢献活動拠出件数13件

- 総人口1,380,343人
 - 男性681,430人
 - 女性698,913人
 - 人口密度(1Km²当たり).....344人
 - 世帯数478,915世帯
- ※総務省国勢調査資料より(平成17年10月)

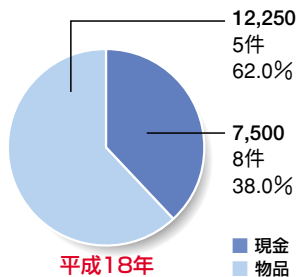


滋賀県遊技業協同組合
安田孝 理事長

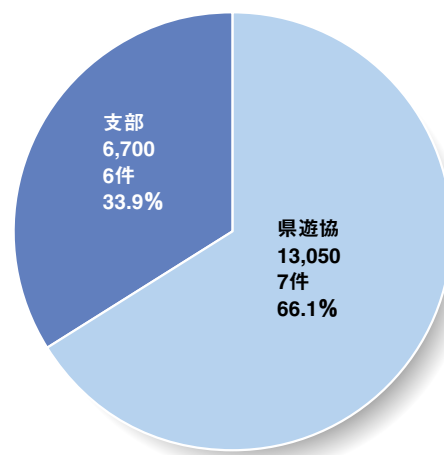
■ 年別 拠出額と拠出件数 (単位:千円)



■ 平成18年 現金・物品の割合 (単位:千円)



■ 平成18年 拠出元別 拠出額と割合 (単位:千円)



駐車場の車上狙い事件防止のため 盗難防止の啓発ポスターを作成

県下パチンコ店舗の駐車場で車上狙い事件が頻発したため、警察の指導のもと、盗難被害防止に関する啓発ポスターを作成。各ホールに配布した。



滋賀県警察の指導のもと作成したポスター

社会福祉施設に 福祉活用車両11台を贈呈

県内にある社会福祉施設10か所に、車いす対応型を含む福祉活用車両を11台贈呈した。



贈呈式



贈呈された福祉活用車両

保育園14か所に暴漢撃退用の 防犯ネットを寄贈

粟東、守山市内にある保育園14か所に、暴漢撃退用の防犯ネット(ネットランチャー)30台を贈った。

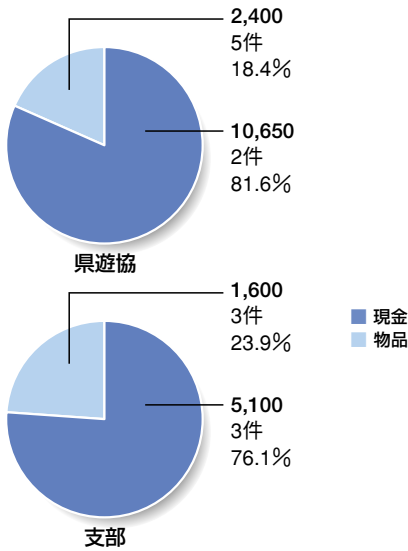


贈呈式

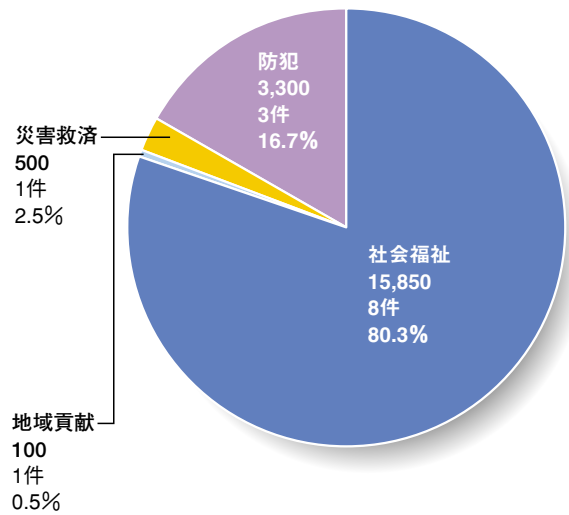


※物品は現金換算した金額です。
 ※グラフに記載されている金額はすべて下3ケタを四捨五入しています。
 従って合計が合わない場合があります。

■ 平成18年 拠出元別 現金・物品の割合 (単位:千円)

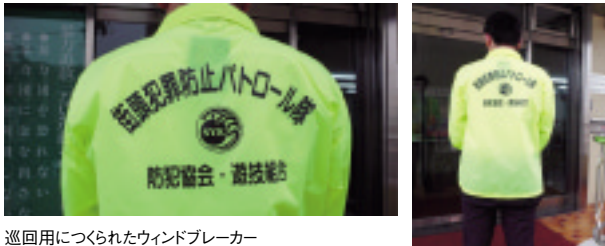


■ 平成18年 分野別 拠出額と割合 (単位:千円)



巡回用ウィンドブレーカーを着た ホール関係者による駐車場の巡回

駐車場での各種事故・事件防止のために、巡回用ウィンドブレーカーをつくり県内ホールに配布。着用して巡回することが、周囲にホール関係者の巡回を認識させることにつながり犯罪や事故防止に役立った。



巡回用につくられたウィンドブレーカー

- 滋賀県老人クラブ大会の行事に参加し、県内の老人ホームへパチンコ台等を贈呈
- 滋賀県身体障害者福祉大会の行事に参加。身体障害者に対する介護補助や、ボランティア活動等を実施

近畿

滋賀県

活動の現場から 貴重品を車内に置かないよう、来場者に注意を呼びかけ

今年になって、県下のホールや量販店等の大型駐車場において車上の貴重品を狙った事件が多発。警察署からも「貴重品を車内に置かない」旨の啓発活動の申し入れがありました。

この内容を受け、来場者の注意を促すために防犯啓発ポスター2種類を作成。1,600枚のポスターを県下の全ホールに配布し、出入り口付近に掲示するようお願いしました。

さらに、各ホールごとに駐車場の巡回、店内で注意喚起のための放送等、来場者への注意を呼びかける運動を徹底させました。その結果、ホールの駐車場における車上狙い事件を防止することができ、現在に至るまで、被害発生 の報告を受けていません。

来場者への被害防止のため、これからも引き続き、貴重品を車内に置かないよう呼びかける運動を行っていきたく考えています。



滋賀県遊技業協同組合
平尾航介



京都府

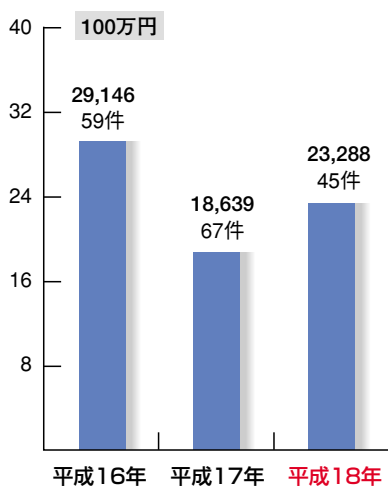
- 社会貢献活動拠出額23,288,300円
- 社会貢献活動拠出件数45件

- 総人口2,647,523人
 - 男性1,272,877人
 - 女性1,374,646人
 - 人口密度(1Km²当たり).....574人
 - 世帯数1,078,282世帯
- ※総務省国勢調査資料より(平成17年10月)

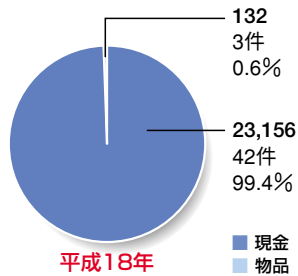


京都府遊技業協同組合
白川鐘一 理事長

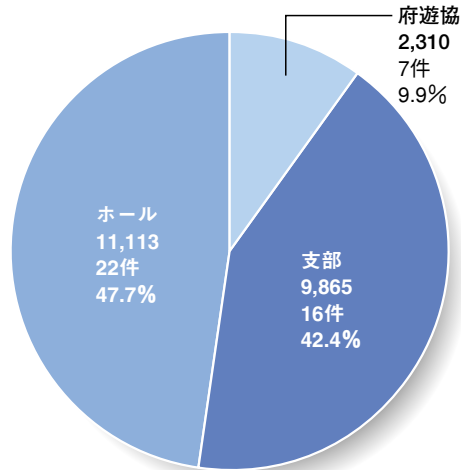
■ 年別 拠出額と拠出件数 (単位:千円)



■ 平成18年 現金・物品の割合 (単位:千円)



■ 平成18年 拠出元別 拠出額と割合 (単位:千円)



チャリティゴルフ大会を開催

組合員、業界関連各社から85名が参加

「第7回社会貢献チャリティゴルフ大会」を開催。組合員や業界関連各社から85名が参加した。当日は、参加者から多くの義援金が寄せられた。



「第7回社会貢献事業チャリティゴルフ大会」

重度身体障害者送迎用車両を

授産施設に贈呈

重度身体障害者送迎用車両(車いすによる送迎のための車両)1台を、京都市みぶ障害者授産所に贈呈した。障害者の送迎用に利用される。



贈呈した送迎車両の出発式

15の自治体・福祉施設に

寄付・助成金を贈呈

例年にならない、本年も寄付・助成金の贈呈式が行われた。京都府をはじめ京都市、福祉施設等15の団体に、総額631万円の寄付金を贈呈した。



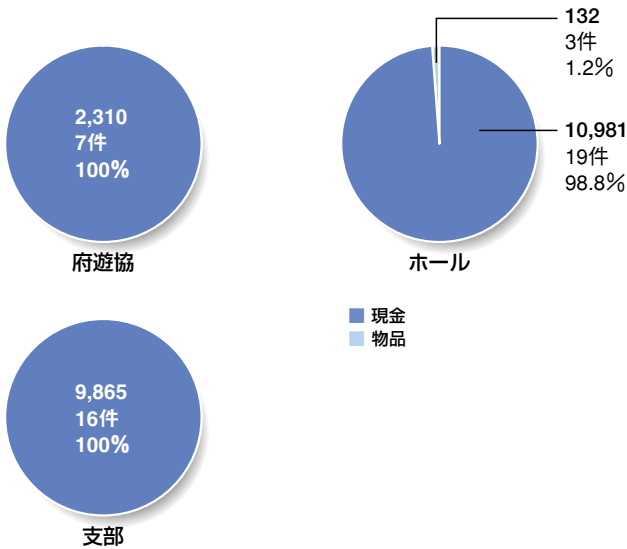
寄付・助成金の贈呈式



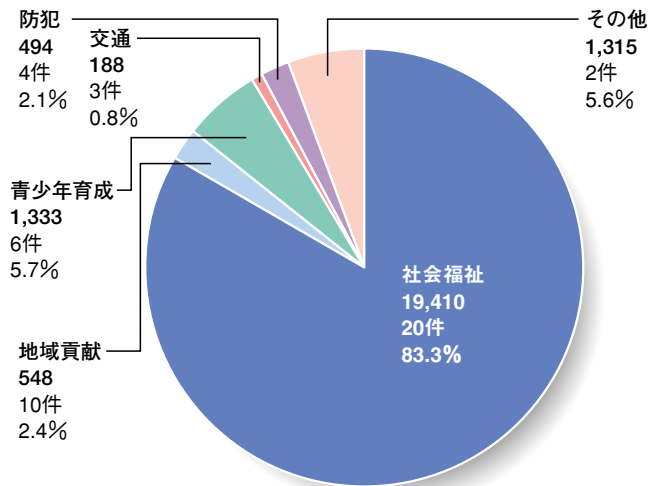
贈呈された重度身体障害者送迎用車両

※物品は現金換算した金額です。
 ※グラフに記載されている金額はすべて下3ケタを四捨五入しています。
 従って合計が合わない場合があります。

■ 平成18年 拠出元別 現金・物品の割合 (単位:千円)



■ 平成18年 分野別 拠出額と割合 (単位:千円)



京都府暴力追放運動推進センターに 100万円を寄付

京都府暴力追放運動推進センターに100万円を寄付し、暴力団追放活動事業の推進に貢献した。



暴力追放京都府民大会の様子



贈られた感謝状

活動の現場から 他県青年部とのふれあいで感じる、新たな刺激

2006年度は、京都・大阪・兵庫の青年部会が持ち回りで行っている「サービスマネジメント講座」を開催しました。業界の将来や問題点について熱い論議が繰り広げられるとともに、ホテル「セトレ」の再建に成功した経験をもつ株式会社ホロニック代表取締役・長田一郎氏を講師に迎え、サービスビジネスの話を持聴しました。このイベントで他県青年部メンバーとのふれあいを通じ、今日の業界が抱える問題につ

いて正面から取り組む気構えが培われたと思います。また、毎年恒例の行政担当官とのフリートークも開催し、5月に改正された風営法のポイントや問題点について議論が交わされました。議論のなかで、改めて青年部会の役割について考えさせられました。今後もこうした勉強会・研修を続けると同時に、社会貢献活動についても行いたいと考えています。



京都府遊技業協同組合
青年部会長
石川直史



大阪府

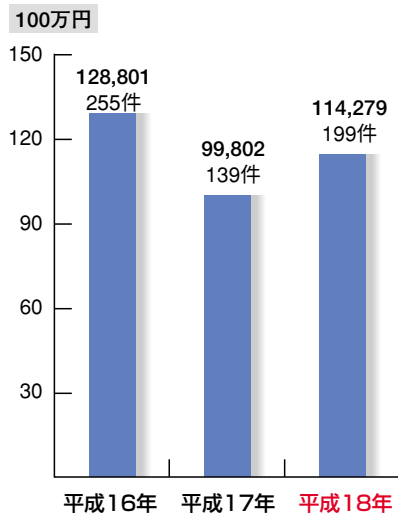
- 社会貢献活動拠出額114,279,031円
- 社会貢献活動拠出件数199件

- 総人口8,817,010人
 - 男性4,280,187人
 - 女性4,536,823人
 - 人口密度(1Km²当たり) ...4,656人
 - 世帯数3,650,247世帯
- ※総務省国勢調査資料より(平成17年10月)

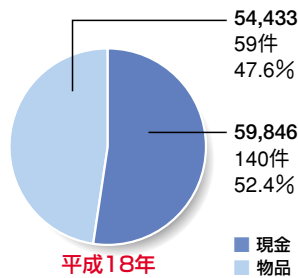


大阪府遊技業協同組合
段為梁 理事長

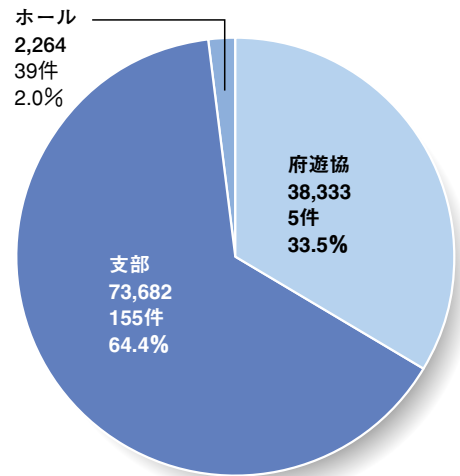
■ 年別 拠出額と拠出件数 (単位:千円)



■ 平成18年 現金・物品の割合 (単位:千円)



■ 平成18年 拠出元別 拠出額と割合 (単位:千円)



「身障者スポーツ写真展」に特別協賛 併せて会場でセルフ商品配布等も行う

8月16日から3日間かけて行われた「感動ありがとう・躍動する身障者スポーツ写真展」に特別協賛。併せて会場において、福祉施設で作られたセルフ商品を配布するなど、授産事業への支援を行った。



写真展のオープンセレモニー



身体障害者の熱心な姿に、思わず足を止める来場者たち

在阪外国人留学生へ奨学金を支給 また各種国際交流事業へ協力・協賛を行う

在阪外国人留学生に、奨学金の支給や犯罪防止の広報活動等を行った。また、留学生に向けダイハツ工業滋賀竜王工場の見学会を開催。日本の先端技術を伝えるとともに、留学生同士の異文化交流に貢献。



工場見学の際、説明を受ける留学生たち



各国の在阪留学生による意見交換会

児童養護施設の子どもたち約2,000人と 「第20回未来っ子カーニバル」を開催

12月23日、児童養護施設26か所の子どもたち約2,000人を招待し「第20回未来っ子カーニバル」を開催。アトラクションのほか、ゲストのタレント・坂東英二さんと楽しいひとときを過ごした。



ぬいぐるみ姿で大会を盛り上げる高校生ボランティア



遊技コーナーで順番を待つ子どもたち

大阪府・市内の福祉施設に 車両21台を寄贈

善意の箱事業会、ヤクルトの協賛を得て、4年前より200台を目標に福祉車両の贈呈を進めている。2006年度は、21の福祉施設に21台を贈呈。現在まで計69台・約2100万円相当分を贈呈している。



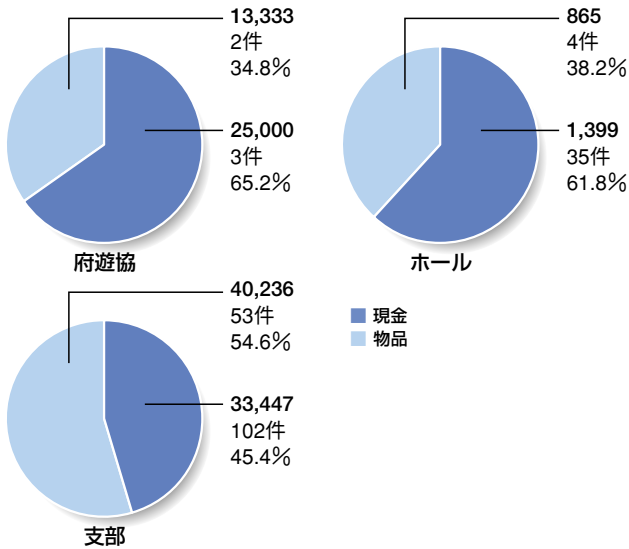
高杉副知事に福祉車両を贈呈



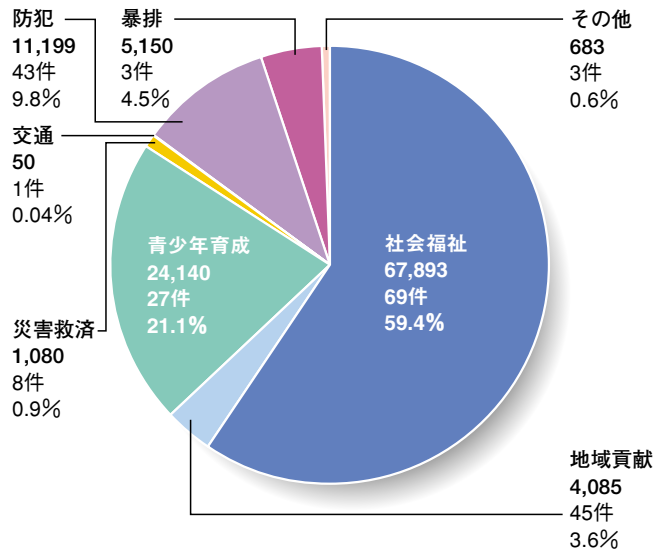
福祉施設の代表者による謝辞

※物品は現金換算した金額です。
 ※グラフに記載されている金額はすべて下3ケタを四捨五入しています。
 従って合計が合わない場合があります。

■ 平成18年 拠出元別 現金・物品の割合 (単位:千円)



■ 平成18年 分野別 拠出額と割合 (単位:千円)



「第8回 シルバーパチンコ競技大会」を開催 高齢者たちでおおいに盛り上がる

老人ホームの入居者約123名をホールに招待し、「第8回シルバーパチンコ競技大会」が催された。漫才コンビ・オーケーの二人の司会に、会場は大盛況で、優勝者には液晶テレビ等が賞品として渡された。



大会の説明に耳を傾ける参加者



遊技に興じる参加者たち

- 多発するひったくり防止のため、ひったくり防止カバー10,000枚を寄贈
- 歳末助け合い共同募金・アイバンクに福祉基金300万円を寄付
- 福祉施設に、クリスマスプレゼントとしてキャラクターグッズ(630万円相当)を寄贈
- 社会起業家ファンドに福祉基金500万円を寄付
- 小・中学校4校に対して、本や書棚を寄贈
- ナンバープレート盗難防止のため、「ナンバープレート防犯ネジ」を寄贈。併せて街頭での取り付けも実施
- 福祉施設4か所に介護用車両2台、他車両2台を寄贈
- 小学校・防犯協議会に、パトロール用ベストなど防犯グッズを寄贈
- AED(自動体外式除細動器)2台、講習用トレーニングセット5台を寄贈
- 福祉活動推進のため、研修会用プロジェクタースクリーン5台を寄贈
- 福祉施設に液晶テレビ、洗濯機等(83万円相当)を寄贈
- 「青色灯パトロールカー」1台を寄贈
- 福祉施設にバリアフリースケール、事務用品等150万円分を寄贈
- 防犯活動推進のため、防犯蛍光メッシュベスト等防犯グッズを寄贈

活動の現場から 社会貢献活動の継続を、みなさんの要望の強さを痛感

2006年度に青年部が行った活動には「未来っ子カーニバル」、「シルバーパチンコ競技大会」の開催、「市民フェスタおおさか」への参加等があります。

なかでも「シルバーパチンコ大会」は、お年寄りたちが童心にかえり、歓声のなかから遊技を楽しんでいる姿が印象的でした。「未来っ子カーニバル」同様、施設の方々にも年間行事として認識されるようになり、うれしい限りです。

また青年部会員の接客等のスキルアップを図るため、大阪・京都・兵庫の3県による三都青年部会の講習会も開催。他県青年部会との交流は刺激となりました。

子どもやお年寄り、身体障害者の方々と接することで、活動の重要性、またみなさんが活動の継続をいかに願っているかを痛感しました。今後も活動を続けていくとともに、少年サッカーや野球等のスポーツイベントを絡めた新たな事業も推進していきたいです。



大阪府遊技業組合連合会
 青年部会 青年部会長
 南 聖祐



兵庫県

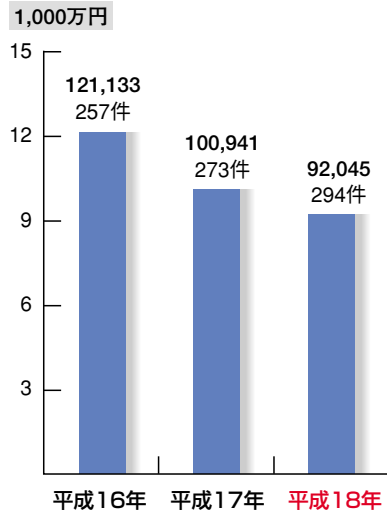
- 社会貢献活動拠出額92,045,164円
- 社会貢献活動拠出件数294件

- 総人口5,590,381人
 - 男性2,680,070人
 - 女性2,910,311人
 - 人口密度(1Km²当たり).....666人
 - 世帯数2,145,760世帯
- ※総務省国勢調査資料より(平成17年10月)

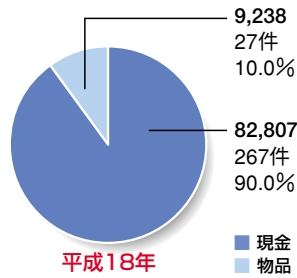


兵庫県遊技業協同組合
米田義一 理事長

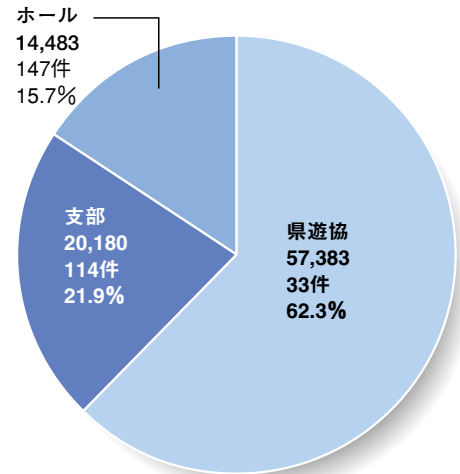
■ 年別 拠出額と拠出件数 (単位:千円)



■ 平成18年 現金・物品の割合 (単位:千円)



■ 平成18年 拠出元別 拠出額と割合 (単位:千円)



世界文化遺産保存活動支援のため 平山郁夫画伯の活動に1,000万円寄付

ユネスコの世界文化遺産保存運動を支援するため、ユネスコ親善大使でもある平山郁夫画伯が理事長を務める文化財保護・芸術研究助成財団に1,000万円を寄付。財団事務所に伺い、寄付金の贈呈を行った。



文化財保護振興財団事務局を訪問

3つの社会福祉施設・自治体に 「兵庫県はあ〜とふる福祉号」を寄贈

社会福祉施設に、車いす対応型の福祉車両「兵庫県はあ〜とふる福祉号」を贈呈。重度身体障害者収容施設等3か所に各1台が贈られた。これまで贈呈された分と合わせると126台にのぼる。



重度身体障害者収容施設で行われたテープカット

福祉車両「兵庫県はあ〜とふる福祉号」

「全国車いすマラソン大会」の 支援を行うとともに、大会運営に協力

「第18回 全国車いすマラソン大会」開催にあたり、携帯用医療器具AED(自動体外式除細動器)と150万円の支援金を贈呈。さらに、沿道の観衆整理等を行うなど大会の運営に尽力した。



医療器具AEDを贈呈

兵庫県遊技業協同組合のゼッケンをつけた選手

「みなとこうべ海上花火大会」に 車いすの身体障害者を招待

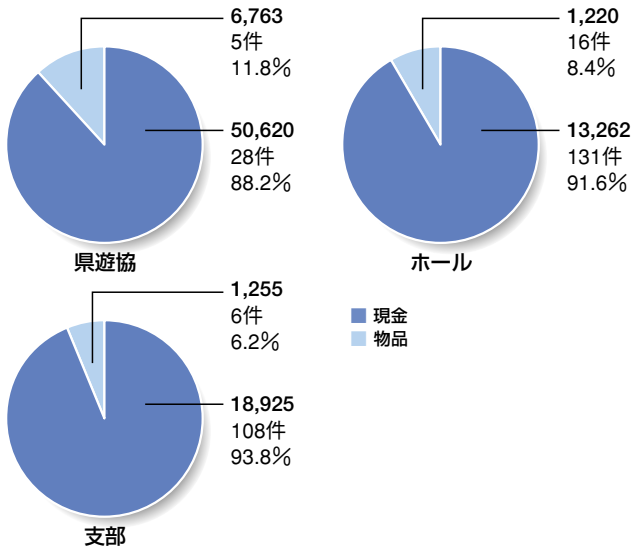
「みなとこうべ海上花火大会」を支援。車いすの身体障害者を招待するにあたり、障害者観覧席や障害者仮設トイレの設営、安全確保のための警備費用等、設備を準備するための資金を贈った。



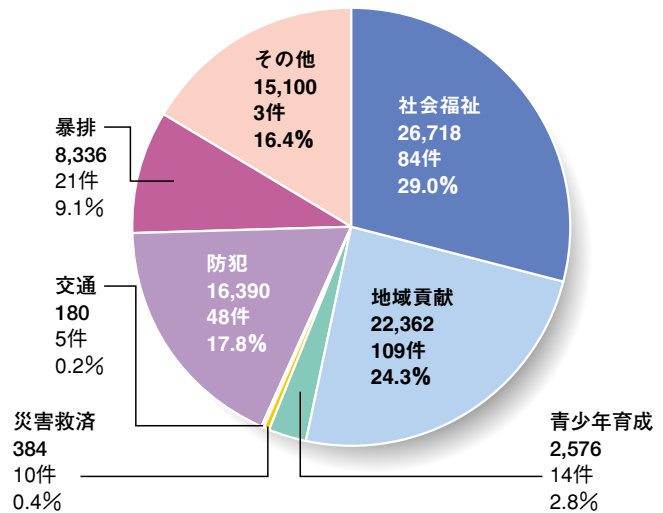
花火大会を楽しむ車いすの身体障害者たち

※物品は現金換算した金額です。
 ※グラフに記載されている金額はすべて下3ケタを四捨五入しています。
 従って合計が合わない場合があります。

■ 平成18年 拠出元別 現金・物品の割合 (単位:千円)



■ 平成18年 分野別 拠出額と割合 (単位:千円)



「兵遊協・ハート玉福祉支援事業」で
 56団体に総額2,000万円を寄付

福祉団体への支援を目的に設立された「兵遊協・ハート玉福祉支援事業(はあ〜とふるふぁんど)」より、56の団体に総額2,000万円を寄付した。



寄付金贈呈式

- 倉敷マスカット球場で行われた、プロ野球オープン戦楽天対西武戦に、ハンセン病患者を招待
- ひたくり防止用ネットを1,000個作成し贈呈
- 「いたみ安全・安心街づくり」防犯キャンペーンを実施
- 犯罪の被害に遭いそうな人がホールに助けを求めた際、その人を保護し、110番通報する「110番協力店」をスタート
- 兵庫県警察少年柔剣道大会に協賛、100万円を贈呈
- 特別養護老人ホーム入所者を招待し、福祉パチンコ大会をホール定休日に開催
- 障害者支援センターからお菓子を購入、地域住民に無料で配布
- 盲導犬協会に支援金を贈呈。盲導犬育成に貢献

活動の現場から 身体障害者と健常者の垣根を越えられる場を提供したい

2006年度、青年部では里親家庭のための「新春初笑い大会」の支援、チャリティーゴルフコンペでの支援金による「福祉パチンコ大会」等の活動を行いました。

「新春初笑い大会」では、神戸市内の里親・里子90名が参加。腹話術や輪投げなどのアトラクション、食事会等が行われ、おおいに盛り上がりました。

「福祉パチンコ大会」では、身体障害者56名をホ

ールに招待して行いました。4名1組のチームになって出玉の数を競い、大盛況のうちに閉会しました。

今後も、身体障害者と健常者の垣根を越えることのできる場を提供したいと考えています。



兵庫県遊技業協同組合
 青年部会部会長
 (株)ミリオン観光 専務取締役
 平山龍一



奈良県

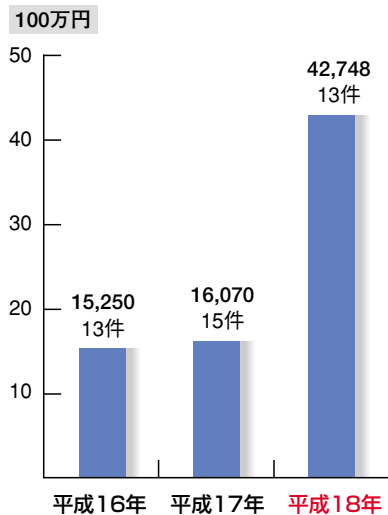
- 社会貢献活動拠出額42,748,000円
- 社会貢献活動拠出件数13件

- 総人口1,421,367人
 - 男性676,329人
 - 女性745,038人
 - 人口密度(1Km²当たり).....385人
 - 世帯数502,930世帯
- ※総務省国勢調査資料より(平成17年10月)

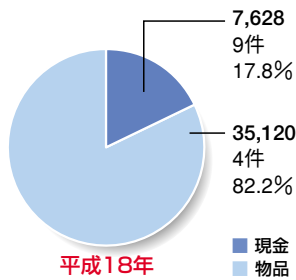


奈良県遊技業協同組合
金田元吉 理事長

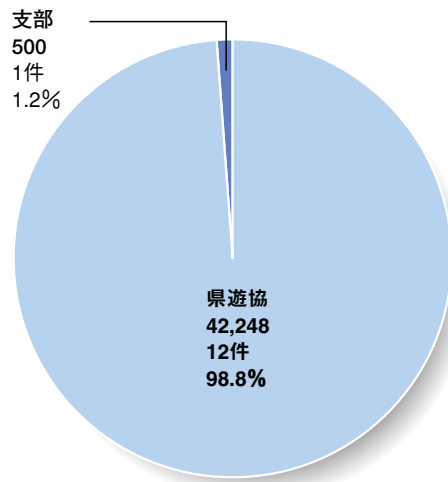
■ 年別 拠出額と拠出件数 (単位:千円)



■ 平成18年 現金・物品の割合 (単位:千円)



■ 平成18年 拠出元別 拠出額と割合 (単位:千円)



地域の防犯協議会に 防犯活動用器材を贈呈

ビデオプロジェクター、スピーカーシステム等、防犯活動用器材を天理山辺防犯協議会に贈呈。地域の防犯活動に貢献した。



贈呈の様子

県内すべての消防行政組織へ 消防指令車13台を贈呈

奈良県遊技業協同組合創立40周年記念事業として、消防指令車13台を贈呈。奈良市消防局をはじめとする県内すべての消防行政組織へ贈呈し、地域活動を支援した。



贈呈した消防指令車

暴力団追放県民センターに財政支援 感謝状を授与

奈良県遊技業協同組合は、奈良県暴力団追放県民センターの賛助会員として毎年200万円の寄付を実施。この活動が高く評価され、「暴力団・銃器追放県民大会」において感謝状を授与された。



感謝状贈呈の様子



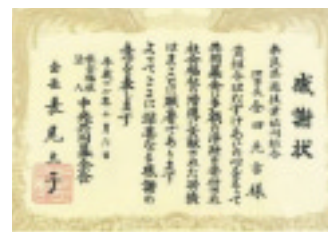
贈呈された感謝状

中央共同募金会から 感謝状を授与

奈良県遊技業協同組合は、共同募金および歳末たすけあい募金として50万円を長年にわたり寄付。活動の評価を受け、全国社会福祉法人中央共同募金会から感謝状が贈られた。



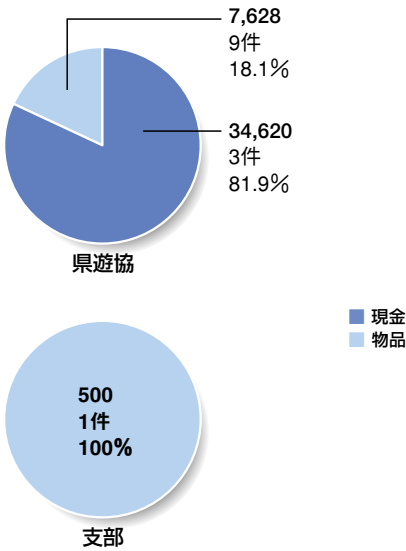
贈呈の様子



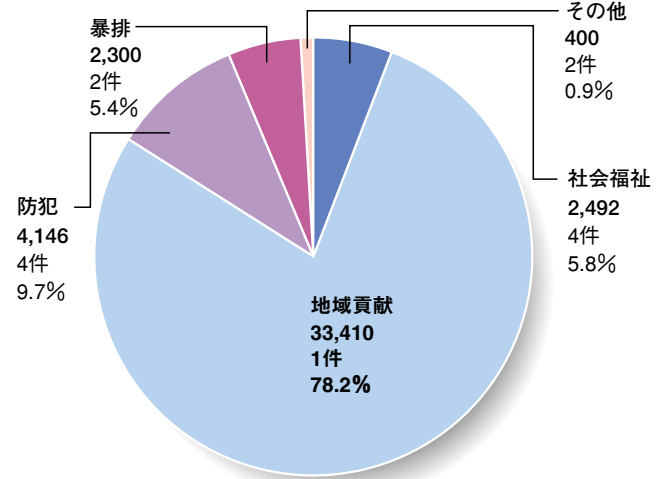
中央共同募金会から贈られた感謝状

※物品は現金換算した金額です。
 ※グラフに記載されている金額はすべて下3ケタを四捨五入しています。
 従って合計が合わない場合があります。

■ 平成18年 拠出元別 現金・物品の割合 (単位:千円)



■ 平成18年 分野別 拠出額と割合 (単位:千円)



チャリティーゴルフコンペを開催 義援金を福祉施設に寄付

奈良県遊技業協同組合は、社会福祉を目的にチャリティーゴルフコンペを開催。集まった義援金199万1,000円を3か所の福祉施設に寄付。後日、奈良テレビや奈良新聞等に大会の様子が紹介された。



目録贈呈

- 「みんなでつくろう安心の街」の記名入りボールペン2本セット5,000組を防犯協会に贈呈。また、地域安全運動に組合員が参加
- 奈良県共同募金会に「共同募金」を150万円寄付
- 奈良県防犯協会に300万円寄付

活動の現場から 活動の重要性を理解し、タイムリーな活動を目指したい

奈良県遊技業協同組合設立40周年記念事業として、県下にある13の各消防本部に消防指令車を贈呈しました。

平成元年以降から毎年救急車1台、消防指令車3台を贈呈していますが、今年度は13台を寄贈するということになりました。納期に間に合うか心配もありましたが、無事総会に間に合うことができました。総会当日、会場であるホテルの前に並んだ消防指令車13台

を見て、来賓や通りかかった観光客から「すごい」「すばらしいことだ」などの声が上がりました。

今後も遊技業組合が地域に理解され、またつながりがさらに深まる社会還元活動の重要性を改めて認識し、タイムリーな活動を提供できるよう推進していきたいと思っております。



奈良県遊技業協同組合
 専務理事
 米澤實乗



和歌山県

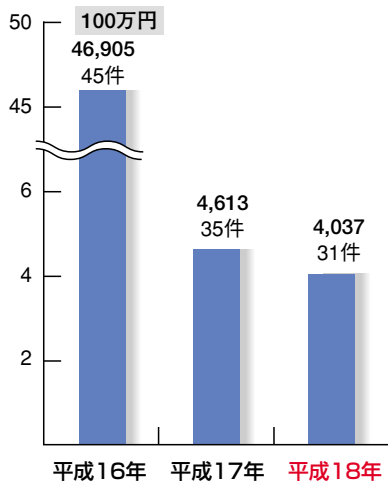
- 社会貢献活動拠出額4,037,006円
- 社会貢献活動拠出件数31件

- 総人口1,036,061人
 - 男性487,997人
 - 女性548,064人
 - 人口密度(1Km²当たり).....219人
 - 世帯数384,734世帯
- ※総務省国勢調査資料より(平成17年10月)

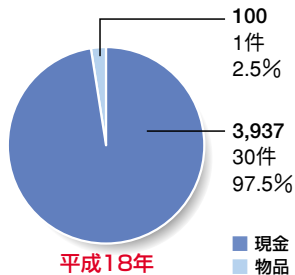


和歌山県遊技業協同組合
藤田昌之 理事長

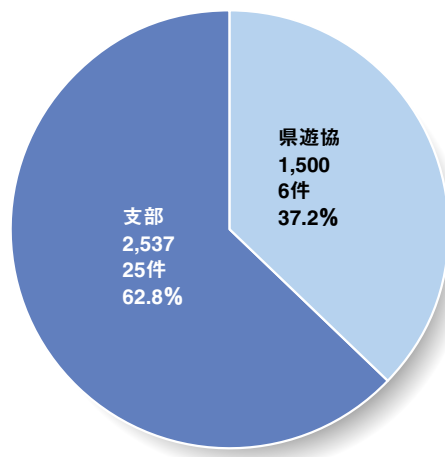
■ 年別 拠出額と拠出件数 (単位:千円)



■ 平成18年 現金・物品の割合 (単位:千円)



■ 平成18年 拠出元別 拠出額と割合 (単位:千円)



「第16回助成事業」を行い 2団体67施設に3,000万円を助成

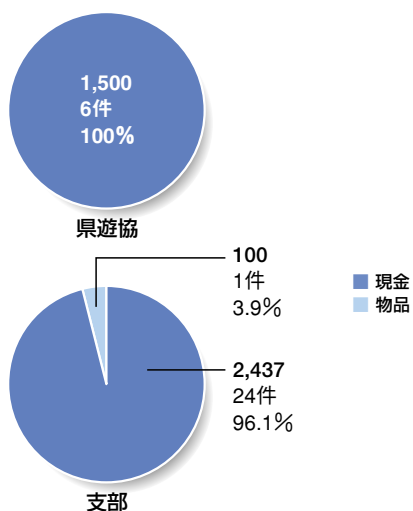
県内における67の乳幼児・高齢者・障害者施設と2団体に対して、3,000万円を助成。テレビや冷蔵庫、車、遊具等福祉事業に必要な物品の購入費にあてられた。



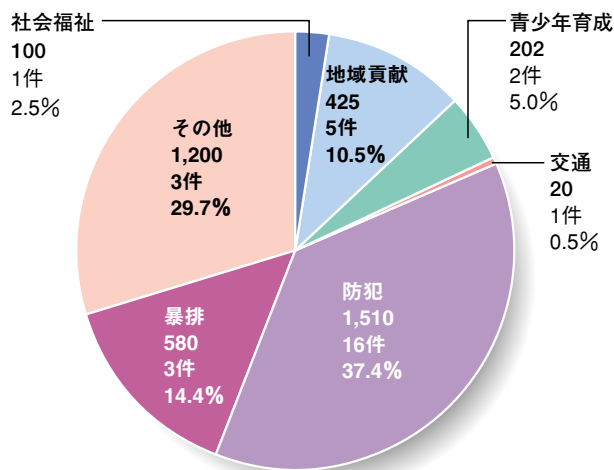
贈呈の様子と、助成金を使って購入した物品の数々

※物品は現金換算した金額です。
 ※グラフに記載されている金額はすべて下3ケタを四捨五入しています。
 従って合計が合わない場合があります。

■ 平成18年 拠出元別 現金・物品の割合 (単位:千円)



■ 平成18年 分野別 拠出額と割合 (単位:千円)



活動の現場から 地域に溶け込めるような活動をしていきたい

これまで和歌山県青年部では、チャリティーゴルフを主催したり、セキュリティ対策セミナーの開催などを行ってきました。

2005年度のチャリティーゴルフでは、収益金を集めて和歌山市にある13の福祉団体に寄付しました。

2006年度は活動を行いませんでしたが例年活動をしていて思うことは、組合での社会貢献活動をあまり知られていないということです。そのため

には、寄付を様々な団体にかたよりなく行うなど、もっと幅広く、地域に溶け込めるような活動をすべきだと思います。

今後も地域の一員として、役に立てるよう努力をしていきたいと思っています。

和歌山市遊技場組合
 青年部長
 安田始弘